



## 2月のテーマ：世界理解月間

### 第1871回例会

日時：平成23年2月3日(木) PM12:30～13:30 場所：中島市民センター 三階 会議室

#### 1 点鐘

#### 2 君が代・ロータリーソング「奉仕の理想」・四つのテスト

#### 3 2月の誕生お祝い

18日 的場 勇人 君/19日 村田 正志 君

20日 岩城 留吉 君…59才になります。学年で行いますので1月に還暦のお参りに行ってきました。

21日 福井 晃 君…これからも健康に気をつけて頑張ります。

#### 4 津田会長挨拶

◇先日の富来クラブとの交流会に出席の皆さんご苦勞様でした。和気あいあいと楽しい交流会でした。今後とも交流会を重ねていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

昨年未から雪が降り続きかなりの積雪になりました。やっと小康状態になりました。道路に雪があると事故が少ないですが、雪が無くなり朝晩の冷え込みにより道路が凍結しスリップ事故が多発しています。皆さんも気を緩めることなく安全運転に努めて下さい。もう一つ雪の話題で、「七尾市は観測史上初の74cmの大雪」更に50cmぐらいの積雪が見込まれるとの記事が新聞に載りテレビで全国に放映され、観光客や温泉宿泊客のキャンセルが相次ぐ風評被害を受けた。気象台発表の積雪量ですが、観測点が城山の下で市街地より50m高い所にある「希望ヶ丘公園」に設置してあるそうで、市役所の中庭に測定したら40cmで約30センチメートルの差があったとのことです。日本では暑い夏で冬は大雪、世界的に異常気象が続いています。これからも気をつけていきましょう。



誕生日祝い 岩城 君



誕生日祝い 福井 君

#### 5 出席報告 83.33%

#### 6 幹事報告

◇IM参加の件/◇富来クラブより交流会お礼の件/◇ベルギー短期交換派遣学生募集の件  
◇書き損じハガキの件/◇ガバナー事務所より2月号記事訂正の件

#### 7 委員会報告

◇情報・広報委員会(室木君)…第19報発刊(ロータリーの友アンケートに対する回答報告)  
◇友好クラブ(播摩君)…交流会の日程について検討…3月6日、日帰りに決定

#### 8 会員卓話 担当 藤崎 傳 君《健康フォーラムの開催について》

◇職業奉仕及び社会奉仕委員会、本年の活動方針は『厚生労働省が推進する「国民健康作り運動」に基づき、地域住民を対象に「食と健康」をテーマとした健康フォーラムを企画・実施する』です。事業計画は①住民に関心の高いテーマを考え、講演者を選定する。②出来る限り多くの住民が参加できるように日程及び広報を工夫する。以上をふまえ今期の健康フォーラムについて検討します。「開催時期」について、当地区は農村地域であり兼業農家が多い関係上6月が適当である。テーマ「食」については、石川県の基本健康検診結果(肥満)の県内順位でふとりすぎ・ふとりぎみと判定された者の割合で、七尾市が平成12年・13年・14年と第一位それ以後もたえず上位を占めているといった現状をふまえ、地域で「振り込め詐欺」等色々な問題を寸劇にして啓蒙活動を行っているボランティア団体(むつみ会)に食をテーマにした寸劇を、「健康」については★メタボ★認知症★糖尿病★腰痛のどれかを選んで講師を依頼したいと考えています。

### 定期総会開催

◇中島ロータリークラブ内規第1項の規約により、2月3日の例会前に定期総会を開催した。

現会長より委嘱された指名委員5名により、指名委員会を1月13日開催した。

指名された次期役員候補者を総会で発表した。満場一致で承認され次期役員が決定された。

【会長】永谷 誠行【会長エレクト】藤崎 傳【副会長】向 卓【幹事】鴻野 俊雄【会計】永山 順一【直前会長】津田 亨



### 第1872回例会

日時：平成23年2月13日(日) 七尾市サンライフプラザ

#### 2010～2011年度 第2610地区 Intercity Meeting 特集

◇職業奉仕の観点から「地域における青少年のキャリア教育を考える」実施主体 第2610地区石川第3分区分  
ホストクラブ 七尾みなとロータリークラブ

【プログラム】パネルディスカッション「地域における青少年のキャリア教育を考える」

#### 基調講演① 放送大学教授 岩永 雅也 氏

「国際調査から見る我が国の高校生の実態・高校生の社会性と社会的自立への課題」

毎年、日本青少年研究所というところで、青少年に関する調査をしています。

ここ5～6年の日本・アメリカ・中国・韓国の高校生を対象にした調査の内容を話します。

それによりこんなものが見えてきましたといった示唆になればと思います。

青少年理解の枠組みとして、①心の活性化②親との関わり③教師との関わり④学校適応、

といった要因により自己肯定感・自尊感情が生まれそして将来展望や国、地域への愛が生まれてくる。

調査の一つにストレスの原因では日本の男女とも成績に関してはあまりストレスを感じていない。

日本の女子は友人との関係にストレスを感じている。学校に誇りを持っているかについては

日本の男女ともあまり誇り持っていない、それにもかかわらず学校が楽しいと思っている。

学校へ楽しみに行っている。日本の親、特に父親は子の成績に関心がない。国民としてのプライドは?との調査

では中国が1位、アメリカ、韓国、日本の順。自尊意識はアメリカがダントツ・中国・韓国・日本の順である。

調査の中から見えてきたものは、子供を取り巻く環境の中では自己肯定感と自尊感情が生まれていない。

このままでは将来に不安を感じます。

#### 基調講演② 上越教育大学大学院准教授 白木 みどり 氏

「若者の社会的・職業的自立のために」今まで、ロータリークラブの活動は一般市民には余り見えてこなかった。

今回の2610地区では様々な形で教育との連携を図ったり、学生たちを支援するといった活動を展開されていた

RCが職業奉仕や社会奉仕を行っている。学校教育と連携ということでは重要な組織である。

いろいろなデータを持ってきています。現在の高校生の8割が上級学校へ進学している。

若年者の失業率が高いといわれています。一旦就職しても3年以内にやめるケースが多い。

理由は仕事があわない、つまらない、人間関係がうまくいかないがほとんどである。

就職先がないといわれているが不足している職種がたくさんある。70万人の若年者が引きこもっている。

外国人労働者が沢山就労している。いびつな構造の中でさらに優秀な外国人が一流企業にも入っている。

いろいろな調査の中で日本の若年者は自尊感情が低いといわれていて、責任を伴うことを避けたい・努力や訓練を伴うことをやりたくない

との結果がでる。平成20年7月教育振興基本計画で基本方向がだされた。①社会全体での教育の向上②個性を尊重しつつ能力を伸ばし、

個人として、社会の一員として生きる基盤を育てる。それでキャリア教育が目指すもの①教育改革の理念と方向性を示す②子供たちの発達

を支援する③教育課程の改善を促す。これからの教育の視点①個の将来への対応②超高度情報社会への対応③高齢社会への対応④環境問題

への対応⑤国際社会への対応⑥伝統文化遺産の継承。新しい連帯感・個性の尊重と社会連帯・積極的連携の意思表示。

人間が生まれて今現在に至るまで蓄積してきた力をキャリアと定義づけている。子供が持っている力を支援しながらキャリア発達させる事

をキャリア教育という。学校教育だけでは足りないところを社会が補っていく事がキャリア教育のめざすことである。

パネルディスカッションは省略します。



IM



IMパネルディスカッション



ガバナー挨拶